

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年2月5日（金）

2 確認箇所

1～4号機タービン建屋東側

3 確認項目

- (1) 千島海溝津波防潮堤補強工事等の状況
- (2) 1号機原子炉建屋残置カバー解体部材の小割作業の状況

4 確認結果の概要

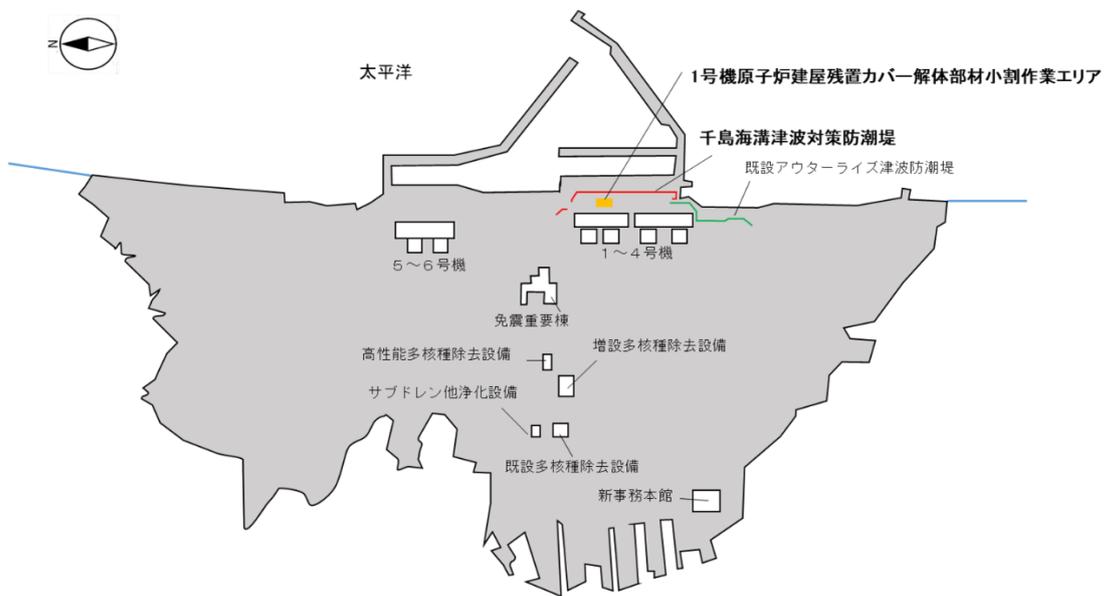
(1) 千島海溝津波防潮堤補強工事等の状況について

9月25日にL型擁壁等の据付作業が完了した千島海溝津波防潮堤については、日本海溝津波防潮堤の先行工事として防潮堤の補強工事*が昨年12月から行われていることから、工事の進捗状況を確認した。また併せて千島海溝津波防潮堤周辺で行われているタービン建屋東側ヤード整備工事の状況を確認した。（図1）（前回確認：[12月2日](#)）

- ・千島海溝津波防潮堤の補強としてL型擁壁の据付及びアッシュクリート（石炭灰混合資材）の打設が進められていた。（写真1）
- ・前回確認時には工事途中であった4号機タービン建屋東側ヤードの舗装工事は完了していた。（写真2）
- ・また、前回確認時には工事途中であった干渉物となる配管の保護工事が完了しており、干渉物を避ける形で防潮堤の補強のためのL型擁壁が設置されていた。（写真3）

※ 千島海溝津波防潮堤の補強工事：令和2年4月に内閣府「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」が日本海溝津波の発生が切迫していると評価したことを踏まえ、東京電力は日本海溝津波への対応方針として、千島海溝津波防潮堤を超える津波が来た場合でも被害が最小限になるよう防潮堤の補強工事を先行実施し（工事期間：令和2年度）、その後、日本海溝津波防潮堤を新設する（工事期間：令和3年度～5年度）としている。

津波規模 千島海溝津波：T.P. 10.3m 日本海溝津波：T.P. 11.8m



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
千島海溝津波防潮堤4号機タービン建屋側の状況(南側から撮影)



(写真1-2)
千島海溝津波防潮堤3号機タービン建屋側の状況(北側から撮影)



(写真2-1)
4号機タービン建屋東側ヤードの状況
(前回(12月2日)北西側から撮影)



(写真2-2)
4号機タービン建屋東側ヤードの状況
(今回(2月5日)北西側から撮影)



(写真3-1)
3～4号機タービン建屋東側の排水路
整備等の状況
(今回(12月2日)北側から撮影)



(写真3-2)
3～4号機タービン建屋東側の排水路
整備等の状況
(今回(2月5日)南側から撮影)

(2) 1号機原子炉建屋残置カバー解体部材の小割作業の状況について
12月19日から1号機原子炉建屋の残置カバーの解体作業が進められて
いる。今回は、取り外された解体部材の小割作業の状況を確認した。(図
1) (前回確認: 1月15日)

- ・1号機タービン建屋東側では、防潮堤の建屋側に1号機の残置カバー解体部材を小割するためのヤードが整備されており、確認時は、ミスト散水設備鉄骨の小割が行われていた。(写真4)
- ・解体部材の小割にあたっては、放射性物質が飛散していないことを監視するために、ダストモニタが設置されていた。(写真5)



(写真4)
1号機タービン建屋東側のヤードにお
ける1号機の残置カバー解体部材の小
割作業の状況



(写真5)
1号機タービン建屋東側のヤードにお
けるダストモニタ設置の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。